



多摩北部医療センター

〒189-8511

東京都東村山市青葉町一丁目7番地1号

電話 042-396-3811

病院の概要

当院は東村山市にあり地域の急性期病院として、北多摩北部医療圏（西東京市、東村山市、清瀬市、東久留米市、小平市）約74万人の医療を支えています。

内科系・外科系ともに各領域の専門医のもとにあらゆる疾患に対応できる総合診療基盤を有しています。また、横断的なカンファレンス、抄読会、院外有名講師によるレクチャーなどを定期的に開催しており、教育体制も充実しています。なかでも、救急医療（年間救急患者約9,600人、救急車約3,400台）、がん医療（東京都がん診療連携協力病院（大腸がん・前立腺がん）に認定）を重点医療とし、さらに小児医療（年間救急患者3,600人、救急車800台）にも力を入れており、新生児から超高齢者までオールラウンドな診療を展開しています。

■ 診療科目

内科 内分泌・代謝内科 循環器内科 腎臓内科 呼吸器内科 消化器内科 神経内科 血液内科
 リウマチ膠原病科 小児科 外科 脳神経外科 整形外科 皮膚科 麻酔科 泌尿器科 婦人科 眼科
 耳鼻咽喉科 精神科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 放射線科

■ 基幹施設となる診療科（括弧内は連携施設病院）

- ・内科（広尾/大久保/大塚/駒込/墨東/多摩総合/多摩南/神経/松沢/公立昭和病院/複十字病院/榊原記念病院/国立病院機構東京病院/日本医科大学付属病院/東京ベイ・浦安市川医療センター/杏林大学医学部付属病院/東京医科歯科大学病院/東京大学医学部附属病院/東京都立健康長寿医療センター/古賀総合病院/東京女子医科大学/島しょ等）
- ・総合診療（駒込/多摩総合/東京女子医科大学病院/奥多摩町国民健康保険奥多摩病院/社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会 常陸大宮済生会病院/医療法人社団実幸会 石橋クリニック/公立置賜総合病院）

■ 連携施設となる診療科（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院のみ掲載）

- ・内科（駒込/多摩総合/多摩南）
- ・外科（多摩総合）
- ・産婦人科（多摩総合）
- ・小児科（小児総合）
- ・麻酔科（広尾/大塚/駒込/豊島/荏原/墨東/多摩総合/東部）
- ・泌尿器科（駒込）
- ・病理科（多摩総合）
- ・救急科（多摩総合）



(内科)



(小児科)

臨床研修委員会委員長からのひとこと



循環器科部長
村崎 理史

ジュニアレジデントの皆さんは、2年間の初期研修の中で自らの将来像を考え、専門を選択していくこととなります。専門医制度は大きく変化し、とくに内科系を目指す皆さんの中には、少々悩ましく思っている方もいるのではないのでしょうか。従来の標準タイプ研修だけではなく、サブスペシャリティを意識した連動研修による重点研修や混合研修タイプも可能となり、選択肢は多様になっています。ひょっとして先生は、「内科系には進みたいけど、腎臓にするか、呼吸器にするか・・・」などと迷っていませんか？

当院は東京都下人口約74万人を擁する北多摩北部医療圏において、中心的な急性期治療を担う337床の中規模病院です。連携病院とともに全ての内科系診療科を揃え、年3～4名の定員で内科標準タイプの専門研修プログラムの下に、多岐にわたる疾患群を経験し、まずは、そして確実に総合内科専門医を目指すことが出来ます。サブスペシャリティが決まっていない内科系志望の方も、濃密な3年間の中で目指す方向が見えてくるとと思います。勿論希望するサブスペシャリティに重点をおいた柔軟な研修プログラム構築にも対応しており、死角はありません。

都心にアクセスが良いわりに、緑豊かな立地にあるのも当院の魅力の一つです。「どんな病院なんだろう？」と興味を持たれた先生は、是非一度見学にいらして下さい。平日はいつでもお待ちしております。

シニアレジデントからのひとこと



内科
2年次
内田 晋平

当院は、人口約74万人を有する北多摩北部地域の地域医療支援病院であり、地域医療の中核を担う病院です。都心へのアクセスは小1時間程と容易であり学会や勉強会等の参加に便利な立地です。

病院全体で340床程度と小規模ですが、循環器や消化器、腎臓・神経・内分泌・血液・膠原病といったほとんどの内科は院内に揃っています。当院の内科プログラムは3年かけて各内科領域をローテーションしていきます。基本はサブスペシャリティ領域に関わらず、様々な科の疾患を経験していくこととなりますが、サブスペシャリティに特化した研修を行うことも可能です。呼吸器科については、近隣にある複十字病院や東京病院等といった施設で研修を行います。このため、内科研修手帳にあるような様々な症例について経験できます。担当医として入院から退院までの経時的な診断、治療の流れを通じて社会的な背景等をも包括する全人的医療を実践します。また外来や救急業務も主体的に行うことができます。具体的には内科外来が週1回1コマ、救急外来を週1回1コマ担当しています。それ以外の週8コマについては、当該科での研修に専念します。その他、日当直が月に4回程度あります。

当院は、2次救急病院であり3次救急については、院外で3か月間、多摩総合医療センター等の救命救急センターでの研修がプログラムに取り入れられています。

若手医師は東京医師アカデミー出身や大学医局派遣と様々であり、後期研修修了後は、そのまま当院に残ったり、あるいは他病院への就職や大学の医局入局などしがらみもなく、自由です。

当院の研修内容はすべて伝え切れませんが、興味を持たれた方は、是非当院に見学にいらして下さい。お待ちしております。